

横浜市 初音が丘地区センター 指定管理者事業計画書			
作成年月日 平成22年3月5日			
団体名	保土ヶ谷区区民利用施設協会		
代表者名	橋本 淳	設立年月日	平成7年4月1日
団体所在地	横浜市保土ヶ谷区西谷町 747-8-102		
電話番号	045-370-5231	FAX 番号	045-370-5230
現在運営している施設名	所在地	運営開始年月日	
横浜市ほどがや地区センター	保土ヶ谷区天王町 1-21	平成7年4月1日	
横浜市西谷地区センター	保土ヶ谷区西谷町 918	平成7年4月1日	
横浜市初音が丘地区センター	保土ヶ谷区藤塚町 15-1	平成7年4月1日	
横浜市桜ヶ丘コミュニティハウス	保土ヶ谷区岩崎町 15-30	平成11年5月15日	
横浜市峯小学校コミュニティハウス	保土ヶ谷区峰岡町 1-10	平成7年4月1日	
横浜市笹山小学校コミュニティハウス	保土ヶ谷区上菅田町 1422	平成7年4月1日	
横浜市くぬぎ台小学校コミュニティハウス	保土ヶ谷区川島町 1374-1	平成17年5月15日	
横浜市瀬戸ヶ谷スポーツ会館	保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町 71	平成7年4月1日	
横浜市川島町公園こどもログハウス	保土ヶ谷区川島町 825-1	平成7年4月1日	

事業計画書様式 2 - (2)

1 申請団体に関すること

(ア) 申請団体の経営方針について

(イ) 申請団体の事業実績（活動実績）について

(ア) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の経営方針について

保土ヶ谷区区民利用施設協会の経営方針は次のとおりです。

- 1 区民のニーズに応え、公共的かつ公平性を担保した区民利用施設の管理運営を行うこと
- 2 区民の自主的な活動の支援を通じて、区民を主体とした活力とふれあいのある快適な地域コミュニティの醸成に寄与すること
- 3 効率的かつ効果的な区民利用施設の運営を行うこと
- 4 公の施設の管理運営の実績等を生かし安定した経営に努めること

(イ) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の事業実績（活動実績）について

保土ヶ谷区区民利用施設協会は、平成7年4月1日に地区センター3館・コミュニティハウス2館・こどもログハウス及びスポーツ会館の合計7館で運営を開始し、その後コミュニティハウス2館（既設施設転用型1館・学校施設活用型1館）を加え、現在は9館の運営管理を実施しています。

この間、地域に密着した運営に努め、利用者の拡大に努めてまいりました。

また、自主事業につきましても、利用者のニーズを取り入れた講座等を実施するなど取り組んできました。

事業計画書様式 2 - (3)

2 初音が丘地区センターの管理運営に対する基本理念に関すること

(ア) 上記施設の管理運営を希望する理由について

(イ) 申請団体における初音が丘地区センター管理運営の位置づけについて

(ウ) 保土ヶ谷区の特徴や上記施設の設置目的と、運営への反映の考えかた

(ア) 初音が丘地区センターの管理運営を希望する理由について

保土ヶ谷区区民利用施設協会は、平成7年4月1日より今日まで地区センターなど区民利用施設を管理運営してきた実績があり、区民にとって使いやすい施設とは何かを第一に考えながら日々努力を重ね現在に至っています。

また、利用者のより一層の拡大を図るため、事業を通して形成された自主グループの育成を支援し、地域コミュニティの醸成に寄与してきました。

区民利用施設の管理運営そのものが協会の使命であり、区民利用施設の管理運営なくして協会そのものが存立し得ないものであります。今までのノウハウを生かし、さらに区民に貢献いたしたい。

(イ) 保土ヶ谷区区民利用施設協会における初音が丘地区センター管理運営の位置づけについて

初音が丘地区センターは、JR線、国道1号から近い位置に立地し、地理的には区の南部の中央に位置していますが、他地区からの利用者は少なく、交通の便などから近隣の住宅地に居住する区民の利用がほとんどとなっています。ほどがや地区センターは都市型の地区センターという位置づけであり、初音が丘地区センターは、今井地区センターほどではありませんが、比較的地域密着度の高い館であります。

保土ヶ谷区区民利用施設協会が管理運営している他の地区センター、コミュニティハウス等との連携をさらに図りながら、地域の住民の方から喜ばれ、利用したくなる区民利用施設としています。

(ウ) 保土ヶ谷区の特徴や初音が丘地区センターの設置目的と、運営への反映の考えかた

保土ヶ谷区の65歳以上人口は、増加しており、また地形的にも中心市街地に隣接した落ち着いた既成市街地といえます。そうしたことから、区全体では高齢者の生きがいの場づくりが重要なテーマであります。一方、それだけ地域での青少年に対するかわりは薄くなっていると思われ、児童をはじめ青少年に対する地域での健全育成に社会全体で手を差し伸べることが重要であると考えています。

また、ほどがや・西谷地区センターに比べると、女性の利用率が高いので、こうした区民の方が地域で安心して生活できるよう、サークル活動や個々の事業を通じて係わりが持てるよう取り組んでいます。

事業計画書様式 2 - (4)

3 初音が丘地区センターの管理運営に対するニーズ等の把握に関すること

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

(ウ) 他施設や併設施設との連携について

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

JR 線、国道 1 号沿いから少し内陸に入った場所に立地しているが、保土ヶ谷駅からは距離があり、JR 線、国道 1 号が地域を分断しているため、狩場、権太坂方面からの利用者が 4 分の 1 程度、4 分の 3 が初音、藤塚、法泉、仏向などの利用者となっています。日常徒歩圏には商店街はなく、個人住宅が多い。

地域との関係づくりは、地域の代表者との関係を密にすることが最も重要と考えています。既に初音が丘地区センターの運営を共に担っていく運営委員には、地元自治会代表、体育指導委員、青少年指導員、子ども会代表など各種団体の指導者などに入っていていただき、いろいろな事業、活動を通して地元住民参画の円滑な運営ができていますと考えます。こうした多くの地域の代表者の意見を聞くことにより、地域のニーズをさらに運営に反映しています。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

前段で述べた運営委員の方の協力を得て地域ニーズをとらえていきます。窓口で受けた要望等については、業務日誌により職員全員が内容を把握できるようにし、速やかな対応ができるようにしています。また、利用者会議を開催し、利用者の声を聴くため提案箱を設置しています。

(ウ) 他施設との連携について

館長会等を通じて他の地区センター等の動向、自主事業等の情報交換を行っています。

近隣地域に新設された権太坂コミュニティハウスとは、様々な連携が取れるようにしていきます。

事業計画書様式2 - (5)

4 初音が丘地区センターでのサービスの提供に対する考え方

- (ア) サービスの提供に関する基本的な考え方
- (イ) 会議室等の利用に関する取り扱いについて
- (ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

横浜市の公共施設として誰もが楽しく気持ちよく利用できるよう、公平・公正に運営管理することを基本としています。また、地区センターが地域住民の活動と交流の場であることを意識し、幼児から高齢者まで誰もが気楽に利用できるよう努め、地域の自主的な活動と相互交流を図るものであれば、広く利用を促していきます。

利用の制限については、利用に関する要綱の中で「利用の禁止」で定めていますが、明らかに他の利用者の迷惑にかかる利用や営利活動など、最小限にとどめます。

(イ) 会議室等の利用に関する取り扱いについて

利用の機会についても、基本的には公平公正を旨とします。自主事業から生まれたグループが引き続き活動を希望する場合には、6か月の優先利用を認め、サークルやグループが育つように支援しています。

利用料金制を実施し、利用料を確保していかなくてはならないため、団体利用者の利用を基本としますが、会議室が空いている場合には（予約は不可）利用料をお支払いいただき、個人にも利用していただくことを可能としていきます。

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

当地区センターで活動している団体の登録名簿やほ도가やサークルガイドなどを用意し、相談に適切なアドバイスができるようにしています。

また、利用しているサークルや地域サークルが使える案内掲示板を用意しています。

さらに、ほ도가や市民活動センターアワーズとも連携を強化し、相談者等で希望するものについては、それらのグループ・団体へ橋渡しができるようコーディネートします。

## 事業計画書様式2 - (6)

### 5 事業の実施に関すること

#### (ア) 自主事業計画に対する基本的な考え方

※具体的な自主事業計画については別紙事業計画様式3、4に記載してください。

利用圏が住宅地なので、利用者の行動傾向は比較的似たものとなっています。また、地区センターの地域との密着度は地理的なこともあり、西谷地区センターより強いものとなっています。

利用者層別に見ますと、一般（女性）の利用率が区内では高くなっています。一般女性の利用が高いのは、開館時（平成元年）頃、子育てが一段落し、趣味活動を始めたり再開した人が多く、その後定着し現在に至っている60歳前後の女性が多いと思われます。

また、区福祉保健センターが行っている事業、当地区センターが実施した事業などの効果により、新しいマンション住民で幼児が居る親の利用も徐々に増えています。

こうした状況から

- 1 地域住民の方の居場所をつくる。誰かが迎えてくれる場をつくる。だいたい毎月同じような場所、時間に一緒に何かできるようにする。こうした仲間作り、安心できる場所づくりを通して地域住民の連帯と交流を醸成しています。
- 2 地域の大人（親）と子どもが交流、共に参加できる事業に取り組んでいきます。恒例の「もちつき大会」には、地域の青少年指導員、体育指導委員、ヘルスマイトに応援していただいています。

さらに、幼児とその保護者を対象にした親子の交流が円滑にいく事業も実施しています。

事業計画書様式 2 - (7)

6 施設の運営に関する考え方

- (ア) 指定期間中の運営に関する基本的方針について
- (イ) 効率的運営のための具体的な計画について
- (ウ) 利用料金の単価の設定及び利用率の想定について

(ア) 指定期間中の運営に関する基本的方針について

- (1) 幅広い年齢層やさまざまなニーズに対応し、異世代交流も推進できる多彩な事業を展開するとともに、その講座を通して形成された自主グループを支援し、併せて地域のリーダーの育成を目指します。
- (2) 地域の拠点として関係機関・団体との連携を図り地域愛を醸成するような事業実施に努めます。
- (3) 効率的・効果的な管理運営の実施、利用者サービスの向上に努めます。

(イ) 効率的運営のための具体的な計画について

管理運営を合理的に行うため、会計経理、労務管理を区民利用施設協会事務局が一体的に行うこと、また、いくつかの区民利用施設の管理運営を行っているスケールメリットを十分生かし、経費を節約し管理費の縮減に努めてまいります。

(エ) 利用料金の単価の設定及び利用率の想定について

平成 17 年 5 月 16 日開催された指定管理者募集に関する合同説明会「保土ヶ谷区説明会」で、区から示された部屋別単価、部屋別稼働率で想定します。

事業計画書様式2 - (8)

7 施設の運営に関する職員体制・情報保持等の考え方

- (ア) 職員の配置及び採用について
- (イ) 職員の研修計画について
- (ウ) 個人情報の保護の措置について

(ア) 職員の配置及び採用について

常勤職員 館長1名、副館長2名（ローテーション勤務）  
時給職職員 スタッフ14名

- (1) 館長・副館長については、広く人材を求めて一般公募（経験者を含む）し、意欲のある人を配置します。
- (2) 時給職職員は、地域性を考慮して、近隣の在住者を一般公募により採用していきます。

(イ) 職員の研修計画について

近時、区民の地区センターに対するニーズが多様化してきており、これらのニーズに適切に対応するためには、職員一人一人の能力向上はもちろんのこと、利用者サービスに徹する館運営が求められています。そこで協会では

- ・区民利用施設協会職員として、採用時接遇研修を全員に実施しています。
- ・年1回全職員を対象にした集合研修に参加させ、グループごとに事例をディスカッションすることで、接遇についての意識を高めています。
- ・館長、副館長については、各種相談・調整・助言が適切に行えるよう、横浜市や関係団体で行われる研修に随時参加させることで、専門知識の習得に努めています。
- ・副館長については、協会事務局主催で2～3回事例討議研修を行っております。

(ウ) 個人情報の保護について

個人情報の保護に関する法律、横浜市個人情報保護に関する条例に基づくとともに、地区センター指定管理者募集要項の中で示された、個人情報特記事項につきましても厳しく守っていきます。地区センター利用者の個人情報の収集は必要最小限にとどめ、二次利用は一切行わないこととしています。

入館者記入表での個人名記入をなくし、利用団体名簿の会員氏名欄を削除して会員数のみとし、個人の氏名などの情報が他の入館者に漏れないよう配慮しています。

また、団体や自主事業参加者の名簿もUSBメモリーなどに保存し、パソコンについても鍵をつけるなどセキュリティ対策を強化します。個人情報の取り扱いについては、事前に本人の承諾がない限り、絶対情報は外に出さないなど、万全の措置を講じ、こうした考え方を全職員に徹底していきます。



事業計画書様式 2 - (9)

8 緊急時対策について

(ア) 防犯、防災の対応について

(イ) その他、緊急時の対応について

(ア) 防犯、防災の対応について

防犯については、緊急時のときの通報を警備会社等と契約しており、警備体制について時々点検・確認するなど万全を期しています。職員に対しても、警備内容、日常の窓、ドアの施錠などの手順の遵守、退館時のセキュリティの確実な実施をするよう指導しています。防災については、防災時に職員が対応マニュアルに沿って行動できるように防災訓練を実施します。なお、防災・防犯については、いずれも区地域協働課に報告し、その対応を協議します。

(イ) その他、緊急時の対応について

- 1 警報発令時における当該施設の閉館等については、当地区センターが2次避難場所にも指定されていることから、区地域協働課と協議し、その指示に従うこととします。防災用品は、体育室器具庫にあるので、日頃から整理整頓を心がけ、いざという時にはすぐ出せるようにしています。
- 2 職員連絡網の再確認、役割分担の確認、想定災害机上訓練などについて実施しています。
- 3 職員・スタッフが防災協会の行う普通救命救急法を取得し、館内の万一の事故発生時に対応できるようにします。習得者を順次増やしていきます。
- 4 地域の関係団体と連携をとり、緊急時には相互協力できるようにします。

## H22 横浜市 初音が丘地区センター 自主事業計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
1. 初音が丘 スイーツクラブ	小学生	120,000	60,000	60,000	25,000	45,000	50,000
	20人						
	3,000円(5回)						
2. 子ども囲碁教室	小・中学生	30,000	30,000	0	30,000	0	0
	当日15人						
	無料						
3. 『ぴよぴよ』のお話 し会	幼児とその保護者	24,000	24,000	0	24,000	0	0
	15組						
	無料(12回)						
4. 初音が丘体育教室	小学生	40,000	31,000	9,000	30,000	0	10,000
	30人						
	300円(3回)						
5. ドッチボール大会	小学生	13,600	13,600	0	13,600	0	0
	50人						
	無料(1回)						
6. 人形劇	幼児とその保護者	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	30組						
	無料(1回)						
7. ハローイングリッ シュ! (前期)	幼児とその保護者	57,000	21,000	36,000	40,200	0	16,800
	20組						
	1,800円(6回)						
8. ハローイングリッ シュ! (後期)	幼児とその保護者	57,000	21,000	36,000	40,200	0	16,800
	20組						
	1,800円(6回)						
9. おやこのリラック スタイム・ベビーマ ッサージ	幼児とその保護者	21,000	6,000	15,000	6,700	12,000	2,300
	15組						
	1,000円(1回)						
10. 初心者パン講座	成人	105,000	33,000	72,000	45,000	50,400	9,600
	12人						
	6,000円(6回)						

事業ごと別紙に記載してください。

## H22 横浜市 初音が丘地区センター 自主事業計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
11. 囲碁大会	だれでも	12,000	8,000	4,000	0	0	12,000
	20人						
	200円(54回)						
12. センターまつり	だれでも	40,000	40,000	0	0	20,000	20,000
	1,350人						
	無料(2回)						
13. もちつき大会	だれでも	80,000	80,000	0	0	75,000	5,000
	200人						
	無料(1回)						
14. 落語教室	小学3年生以上	25,000	25,000	0	25,000	0	0
	15人						
	無料(5回)						
15. 革でつくる小物	成人	50,000	27,000	23,000	15,000	33,650	1,350
	10人						
	2,300円(3回)						
16. 初音が丘実験・工作クラブ	小学3年~6年	135,000	87,000	48,000	75,000	49,600	10,400
	16人						
	3,000円(10回)						
17. ペンシルバルーン ボランティア養成 講座	成人	75,000	40,000	35,000	37,500	35,250	2,250
	10人						
	3,500円(5回)						
18. 脳トレクッキング ・男性専科	成人男性	150,000	54,000	96,000	33,000	97,800	19,200
	16人						
	6,000円(6回)						
19. こねこね料理サロン	成人	135,000	39,000	96,000	30,000	96,000	9,000
	16人						
	6,000円(6回)						
20. プレイルーム壁画 作りボランティア 講座	成人	50,000	30,000	20,000	25,000	22,750	2,250
	10人						
	2,000円(5回)						

事業ごと別紙に記載してください。

## H22 横浜市 初音が丘地区センター 自主事業計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
21. 春から始める ビューティー&ヘルシー講座	成人女性	65,000	17,000	48,000	30,000	29,480	5,520
	16人						
	3,000(6回)						
22. ピラティス講座	成人女性	64,000	4,000	60,000	50,000	0	14,000
	20人						
	3,000円(10回)						
23. 初音が丘ファミリーコンサート	プレマと乳幼児と保護者	30,000	25,500	4,500	23,000	0	7,000
	45組						
	100円(2回)						
24. 初音が丘サロンコンサート	だれでも	25,100	22,000	3,100	20,000	0	5,100
	31人						
	100円(1回)						
25. ふれあい地域寄席	だれでも	6,000	6,000	0	6,000	0	0
	30人						
	無料(1回)						
26.手作りアロマで フローラル&リフレッシュ	高校生以上	95,000	47,000	48,000	40,200	48,000	6,800
	12人						
	4,000円						
27. 小学生クリスマス パン作り	小学生	20,300	11,900	8,400	5,000	8,400	6,900
	12人						
	700円(1回)						
28. 英語で遊ぼう	小学1年~3年生	76,000	16,000	60,000	67,000	0	9,000
	20人						
	3,000円(10回)						
合計		1,611,000	829,000	782,000	746,400	623,330	241,270

事業ごと別紙に記載してください。

## H22 横浜市 初音が丘地区センター 自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
1. 初音が丘スイーツ	初音が丘スイーツクラブも今年で5年目となり、地域の子どもたちも小学3年生になると申し込める講座として定着してきました。今年度も引続き、基本的作り方と人気のあるお菓자에挑戦します。	春～秋 5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
2. 子ども囲碁教室	毎月2回、同じ時間に当日参加スタイルで気軽に楽しめる場として開催しています。講師は、囲碁を楽しみながら考える力やマナーを身に付けて欲しいと考えている地域の方々です。	年間 23回 (10月は1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
3. 『ぴよぴよ』のお話し会	プレイルーム利用者から要望の多い「お話し、手遊び、パネルシアター」を、毎月第2土曜日午前、子育て支援グループ『ぴよぴよ』の協力でを行います。	年間 12回 (8月休み、センターまつり時も開催)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4. 初音が丘体育教室	小学生低学年を対象に、マット運動などが苦手な子の夏休み集中トレーニングの場を提供します。平成18年度より体育教室で取り入れてきたドッジビーも積極的に取り入れ、身体を動かす楽しみを味わいます。	夏 3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
5. ドッジボール大会	もちつき大会同日に、地域のサークルの協力で小学生対象のドッジボール大会を開催します。	冬 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
6. 人形劇	もちつき大会の同日に、地域のサークルによる幼児対象の人形劇を催します。	冬 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
7.8. ハローイングリッシュ! (前期・後期)	1歳半～2歳児の親子を対象に、音やリズムを通して英語に親しむ機会と、地域の仲間づくりのきっかけを作ります。	春・秋 各6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
9. おやこのリラックス タイム ベビーマッ サージ講座	歩き出す前の赤ちゃん親子を対象に、手遊びやベビーマッサージを通して親子の大切な乳幼児期のふれあいを学ぶ機会を作ります。	春 1回

## H22 横浜市 初音が丘地区センター 自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
10. パン初心者講座	利用者からの要望が多い講座。パンの基本こねから焼き上げまで家庭ですぐ作れるように楽しくパン作りを学びます。	秋～冬 6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
11. 囲碁大会	半年間、総当り戦方式で行います。これにより囲碁仲間の輪が広がっています。	夏～秋 54回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
12. 初音が丘地区センターまつり	毎年10月第4土曜・日曜に開催。自主事業で作成した作品等や、センターを利用している団体・サークルが1年の学習成果を、展示・体験・発表します。	秋 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
13. もちつき大会	毎年1月下旬に、地区体育指導員、青少年指導員、ヘルスメイトの協力でもちつき大会を開催しています。また同日に人形劇、小学生ドッジボール大会も行い地域の交流の場を提供します。	冬 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
14. 落語教室	小学3年生以上を対象に、落語の初歩を学習、最終回は発表会をおこないます。	夏 5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
15. 革でつくる小物	初音が丘地区センターでは、身近な地域でご自身が持っている知識や経験・技術を地域活動に役立てて行きたいと考えている方に自主事業の講師をお願いしています。 今回は、エコぞうりや革細工を指導できる方からの申し出により、革細工の初級を学びます。	春 3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
16. 初音が丘実験・工作クラブ	小学3年生から6年生を対象に、身近なものを使って実験・工作を行います。講師は、ほどがや街の学習応援隊の登録者、保土ヶ谷東部地区青少年指導員の方々や地域の方々の協力で行ないます。	通年 10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
17. ペンシルバルーンボランティア養成講座	初音が丘地区センターでは、身近な地域でご自身が持っている知識や経験・技術を地域活動に役立てて行きたいと考えている方に自主事業の講師をお願いしています。旭区生涯学習人材バンクに登録し活動している方からの申し出により、細長いペンシルバルーンを使って、即興で動物を作る技術を学び、地域の人たちを楽しませるボランティア活動を育成します。今回は、学習成果をセンターまつりで披露します。	秋 5回

## H22 横浜市 初音が丘地区センター 自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
18. 脳トレクッキング・ 男性専科	昨年度も人気があった、男性向け料理講座を月 1 回・半年間に渡って行ないます。事後グループになるよう積極的にはたらきかけて行きます。	春から 6 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
19. こねこね料理サロン	初音が丘地区センターでは、身近な地域でご自身が持っている知識や経験・技術を地域活動に役立てて行きたいと考えている方に自主事業の講師をお願いしています。旭区生涯学習人材バンクに登録し活動している方からの申し出により、料理の調理方法の『こねる』に着目し、いろいろなこね料理を体験します。みんなでわいわいしながら、おいしい物を作ってみましょう。	秋から 6 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
20. プレイルーム壁画作りボランティア講座	プレイルームをほっと落ち着く空間にする壁画飾りを学びます。講座終了後、壁画飾りボランティアとして活動できる人を育てます。	冬 5 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
21. 春から始めるビューティー&ヘルシー講座	初音が丘地区センターを知ってもらう講座として、30～40 代女性向けの講座を行ないます。内容は、初夏に向けての紫外線防止のメイク・旬の食材を使って美と健康に役立つ料理と体の内側の筋肉を鍛え新陳代謝の向上を目指します。	春 6 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
22. ピラティス講座	初音が丘地区センターを知ってもらう講座として、30～40 代女性向けの講座を行ないます。先駆講座のビューティー講座受講者の受け入れ講座としての働きも果たします。	秋 10 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
23. 初音が丘ファミリーコンサート	幼い子と一緒に身近な地域で楽しめるコンサートを企画しました。プレママと 0 歳児は、和室でおもいおもいの楽な姿勢で聞くことができます。 音を体中で表現する 1 歳児～3 歳児には、保護者のおひざの上と一緒に楽しめます。	冬 2 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
24. 初音が丘サロンコンサート	地域で手軽に聞けるコンサートを企画して、3 年目になりました。今年度は、アイリッシュ・ハーブを予定しています。	春 1 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
25. 地域ふれあい寄席	地域で手軽に聞ける落語を企画して、2 年目になりました。今年度も、横浜市職員落語愛好会の協力で行ないます。	冬 1 回

## H22 横浜市 初音が丘地区センター 自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
26. 手作りアロマでフ ローラル&リフレッ シュ	今年度も、来館者アンケートでリクエストがあったアロマで夜間講座に取組みます。高校生以上の若い世代に人気のあるアロマを使って、スプレー、ソープ、バスソルト、パウダー、ジェルを作ります。	春から 6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
27. 小学生クリスマス パン作り	クリスマスの装飾用リースパンを作ってみましょう。食べられるパンも一緒に作ります。	冬 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
28. 英語で遊ぼう	小学1年～3年生を対象に、勉強としての英語ではなく、楽しい・好き・親しみのある英語レッスンをします。	通年 10回



(様式 6)

### 平成22年度初音が丘地区センターの管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
収入合計(A)		①+②+③=A	36,052
項 目	①委託予定額		32,282
	②利用料金収入	区積算額×21年度達成率88.5%	2,380
	③その他収入	事業収入・自販機収入・諸収入	1,390
支出合計(B)			36,052
項 目	人件費	常勤職員(館長1名、副館長2名)、時給職員(スタッフ・アルバイト14名)、法定福利費(社会保険料、健康診断料、福祉共済掛け金)、通勤費	20,839
	事務費	旅費、消耗品費、会議旅費、印刷製本費、通信費、使用料及び賃借料、備品購入費、図書購入費、施設賠償責任保険、手数料、諸費	1,184
	事業費	自主事業費(一般、青少年向け)	1,611.0
	管理費	光熱水費、修繕費、設備総合巡視点検、電気設備保守点検、冷暖房設備保守点検、消防設備保守点検、機械警備、植栽剪定、建築設備定期点検、害虫駆除、塵芥処理など	7,451
	ニーズ対応費	運営委員会や利用者のニーズにより執行	793
	事務経費	労務経費、消費税、研修費など	4,174
収支(A)-(B)			0

※ 1年間(12ヶ月)の収支を記入してください。

※ 各項目については、必要に応じて別紙にて説明資料を添付してください。

初音が丘地区センター 収支予算書 【様式6 説明】

(単位:千円)

項目	支出合計	(1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)	36,052
<b>人件費 (1)</b>			<b>20,839</b>
常勤職員			12,122
給与	館長		3,678
	副館長(2名)		6,330
法定福利費	健康保険料		484
	厚生年金保険料		805
	児童手当拠出金		14
	雇用保険料		75
	労災保険料		54
	通勤費		643
	健康診断料		21
	福祉共済掛け金		18
時給職員			8,717
賃金	スタッフ(14人)		8,674
法定福利費	労災保険料		43
	通勤費		0
	健康診断料		0
<b>事務費 (2)</b>			<b>1,184</b>
旅費			26
消耗品費			585
会議諸費			50
印刷製本費			70
通信費			170
使用料及び賃借料			0
備品購入費			200
図書購入費			0
施設損害賠償責任保険			15
手数料			28
諸費			40
<b>事業費 (3)</b>			<b>1,611</b>
自主事業費			1,611
ワンパクリテ-事業費			
<b>管理費 (4)</b>			<b>7,451</b>
光熱水費	電気料金		2,636
	ガス料金		1,130
	水道料金		434
修繕費	小破修繕		450
設備総合巡視点検	建物空調等定期点検月1回		155
電気設備点検	電気工作物保守隔月1回		147
中央監視装置点検空調自動制御点検	定期点検年1回、随時保守		221
空調設備点検熱源機器等点検	冷房・暖房切替、中間点検、 Legionella 菌分析殺菌剤含む、随時保守		633
受水槽高架水槽清掃飲料水水質検査	年1回		29
害虫駆除	年2回		68
ウォータークーラー水質検査	年1回		11
消防用設備点検	年2回 外観機能点検、総合点検		129
昇降機点検	月1回		185
自動ドア点検	年2回		48
機械警備点検	常時		265
清掃業務	定期清掃年4回、窓ガラス、フローリング他		391
植栽剪定	樹木管理		265
建築設備定期点検	年1回		150
その他	書籍管理システムサポート、塵芥処理料		104
<b>ニーズ対応費 (5)</b>	運営委員会や利用者のニーズにより執行		<b>793</b>
<b>事務経費 (6)</b>			<b>4,174</b>
労務経費			3,129
消費税			1,045
事業所税			
研修費			0